

抄 録

尿毒症ニ對スル尿素ノ關係ニ

就テノ實驗

(Arch. Int. Med., Vol. 28, No. 3, p. 331.)

ライター氏ハ、尿中ノ種々ナル生理的成分ノ中毒性ト、臨牀上尿毒症ト稱セラル、状態ノ症狀トノ關係ヲ定メシトシ、先ヅ尿素ヲ以テ初メ多數ノ犬ヲ用ヒテ實驗セリ。其方法ハ、比較的短キ時間内ニ、此大量ヲ靜脈内ニ注射シ、其毒性、中毒症狀、血液、尿等ノ尿素含量ノ變化、解剖的變化竝ニ種々ノ體液ノ尿素含量ヲ定メタリ。其レヨリ、一方ノ輸尿管ヲ結紮シタル犬ニテ、尿素ノ毒性ヲ定メ、又一面ニハ、兩輸尿管ヲ結紮シ、動物ノ死スル迄血中尿素ノ變化ヲ追跡シタリ。而シテ結論トシテ、左ノ如ク述べタリ。即チ犬ニテ靜脈内ニ尿素ヲ注射スル時ハ、人ニテ瘧變ヲ有スル尿毒症ノ時ニ見ルト同一ノ症狀ヲ生ズ。而シテ消化器ノ粘膜ニ、尿毒性大腸炎ニ關スルモノ

ノ如キ變化ヲ生ズ。又症狀ノ程度ト、血中ノ尿素ノ濃度トノ間ニハ、一定ノ關係アルガ如シ。人ノ慢性尿毒症ハ、尿素ノ中毒ニヨリテ來ルモノト考フルモ可ナラン。勿論比較的濃度ノ低キ尿素ヲ、長ク持續シテ注射シ得ル特別ノ裝置ヲ用ヒテ、尙ホ検査スル必要アリ。而シテ茲ニハ臨牀上尿毒症ノ時ニ、單一ナル原因ノミ關係スルモノナリト云フニアラズ。只尿素ノ蓄積ハ、他ノモノヨリモ遙ニ緊要ナル關係ヲ有セザルベカラズト述ブルノミナリ。兩輸尿管結紮ヨリ生ジタル、衰弱状態ニテハ、恐ラク尿素蓄積ノミヨリモ、他ニ多クノ原因アルベシ。此實驗ノ事實ヨリハ、一定ノ根據ヲ以テ、之ヲ説明スルコト能ハズ。只斯カル必要ナル排泄管ヲ、突然閉塞スレバ、全身ニ烈シキ新陳代謝障害ノ起ラザルベカラザルコトハ明ナル所ナリ。尙ホ血中ニ多量ノ尿素存在セル時ニハ、胃、膽汁、腸等ニ多量ノ尿素排泄セラル、コトヲ證明シタリ(廣瀨抄)。

非特異性蛋白質ノ病的機轉ニ對スル作用ノ本性ニ就テノ研究

(Journ. Med. Research, Vol. XLII, No. 3, p. 261.)

コーウイー及ビグリーンタール氏ハ、健康ナル馬ノ血清ヲ、豚鼠ニ用ヒテ實驗シ、次ノ如ク述ベタリ。即チ健康ナル馬ノ血清一c.c.ヲ、豚鼠ノ皮下或ハ靜脈内ニ「ヂフテリー」毒素ト同時ニ注射スレバ、常ニ致死量ニ對シテ防禦ス。且時トシテハ、毒素ノ致死量ノ八倍ニ對シテ防禦スルコトアリ。健康ナル馬ノ血清量多キ程、「ヂフテリー」毒素ノ大量ニ對シテ防禦スレドモ、其結果ハ必ズシモ比例セズ。余等ノ得タル最高ノモノハ、馬血清三c.c.ニテ、最小致死量ノ十五倍ニ對シテ得タル防禦力ナリ。健康ナル馬ノ血清ノ防禦力ハ、蛋白質ノ部分ニアリテ、酒精ニ溶ケ得ル部分ニ存在セズ。馬血清一c.c.中ノ蛋白質ノ部分ハ、常ニ毒素ノ致死量ニ對シテ防禦ス。余等ノ用ヒシ馬血清ノ防禦力ハ、全ク血清中ニ「ヂフテリー」抗毒素ノ存在セシコトニハヨラザリシコト明ナルガ如シ（廣瀨抄）。

脾性糖尿病ニ於ケル胃液

(Am. Jour. Physiol., Vol. LVI, No. 3, p. 371.)

スタインバーグ氏ハ、犬ニパウロフ氏胃ヲ作り、脾臓

ヲ摘出シテ、後胃液ノ状態ヲ検査シ、次ノ如ク結論セリ。即チパウロフ氏胃ヲ有スル犬ニテ、脾臓ノ全摘出ヲ行ヒシ後、胃液ノ分泌ハ通常ト異ナレリ。初メ二時間ノ量ハ、正常ノ犬ノモノヨリ少ナシ。分泌ノ盛ナル時期、即チ第三、第四、第五及ビ第六時間ニ於テハ、分泌量ハ正常ヨリ大ナリ。而シテ分泌期ハ延長シ、十二時間或ハ其以上持續ス。又同ジ食物ヲ用ヒシニ、胃液ノ全量ハ二倍以上ニ増加セリ。次ニ胃液ノ「ペプシン」濃度ハ、非常ニ増加ス。然レドモ脾性糖尿病ニ於ケル、胃液ノ酸度ハ、通常ト異ナラズ（廣瀨抄）。

脾臓ト消化

(Am. Jour. Med. Sc., Vol. CLXII, No. 3, p. 325.)

インロウ氏ハ、パウロフ氏法ヲ少シク變形シテ、動物ニ副胃ヲ作り、脾臓ノ摘出ノ前後ニ於テ、胃液ヲ検査シ次ノ如ク結論セリ。即チ脾ノ摘出ハ、胃液分泌ニ價値アル變化ヲ起サズ。只其量少シク減ジタルノミ。此成績及ビ諸家ノ實驗ヨリ、脾ニ一定ノ「ペプシン」發生ニ關スル官能アルコトヲ認ムルコトヲ得ズ。脾ノ胃分泌ニ關スル

關係ハ、恐ラク單ニ血管性ナラン。脾摘出後、胃液ノ量ノ減ズルハ、胃脾循環ニ外傷アリテ、胃血行ノ減ズル爲メナルベシ（廣瀨抄）。

腎臟ニ輕微ナル變化ヲ伴ヘル

高張症

(Jour. Am. Med. Assn., Vol. 77, No. 14, p. 1075.)

モシニコウイツツ氏ハ、高張症アリテ、解剖上腎臟ニ著變ナカリシ五例ヲ述ベテ左ノ如ク結論セリ。即チ高張症ト、腎炎ノ他ノ症狀ヲ有セシ五例ニ於テ、腎ハ確カニ期待セシヨリモ輕度ノ變化ヲ示シタリ。本例ハ臨牀上及ビ病理解剖上ノ腎臟炎ハ同一ナラズ。殊ニ高張症ノ存在及ビ其程度ハ、腎ノ變化ノ程度ニ關係ナキコトヲ示セリ。此觀察ヨリ、慢性腎炎ノ高張症ハ、腎性ナリト信ズルコトヲ得ズ。然レドモ此事ハ、高張症ハ腎炎ヲ生ズル原因ノ一ナリト余ノ前ノ記事ト矛盾セルニアラズ。次ニ腎臟ニ於ケル變化ハ、單ニ一般ノ毛細管及ビ血管ノ疾病ノ部分症狀ナルコトヲ示セリ。此事タルヤ、高張症ニテ他ノ臟器例之腦、大動脈、心臟、脾臟、動脈等ニ屢々伴フ

臨牀上ノ症狀ヲ説明セシムルモノナリ。斯ク考フレバ、動脈ノ疾病及ビ腎ノ變化ハ、相互關係アルモノニアラズシテ、同一ノ原因ニ對シテ同時ニ起リシ反應ナリ。又高張症アル續發性萎縮腎ト、高張症輕度ナルカ或ハ之ヲ缺ゲル原發性萎縮腎トニ於ケル變化ハ、形態學的ニハ同一ナリ。後者ノ本能ヲ憶說ヲ以テ説明センニ、續發性萎縮腎ニテハ、其發生上主ナル原因ナラザレドモ、最モ緊要ナル原因トシテハ、血管高張症ナリ。然ルニ後者ニテハ、其レハ血管緊張ナルノ點ニアリ。斯ク考フレバ高張症ハ單ニ生理的官能機轉ノ誇張セラレタル現象ニ外ナラズ。而シテ臟器ノ官能變化ハ、代償機轉ノ上ニ現ハレタル結果ナリ（廣瀨抄）。

脾臟ノ内分泌

(Endocrinology, Vol. V, No. 4, p. 461.)

エッチー氏ハ、家兔ニ脾ノ製劑、犬猫等ノ脾ノ越幾斯、其外對照トシテ他ノ組織越幾斯等ヲ注射シ、其前後ニ於テ詳細ニ血液ヲ檢査シ、左ノ如ク結論セリ。即チ脾臟ガ内分泌ヲ營ムト云ヘル憶說ハ、脾摘出後赤球ニ變化起

ルコト、脾肥大ニテハ血液像ノ變化スルコト、而モ其レガ或ル場合ニハ少ナクトモ脾摘出ニテ改善セラル、コト及ビ脾越幾斯ヲ注射スレバ、赤血球ニ特種ノ影響ヲ與フルコト等ノ二ツヨリ維持セラル、所ナリ。而シテ此想像的「ホルモン」ノ化學的性質ハ不明ニシテ、其作用ノ方法ニ付テ説ヲ立ツルコト困難ナリ。然レドモ次ノ如キ想像ヲ下サント欲ス。即チ脾ノ主ナル官能ハ、血行中ヨリ崩解シタル赤血球ヲ除去スルニアリ。脾細胞ハ内分泌ヲ營ム。此内分泌物ハ赤血球ノ抵抗力ヲ減退ス。其結果古キ血球ヲ破壊ス。此内分泌物ハ恐ラク肝臓ニヨリテ變セラレ、骨髓ノ赤血球製造機能ヲ刺戟シ、以テ新血球ノ製造ニ用ヒラル、モノナルベシ（廣瀬抄）。

嗜眠性腦炎ニ關スル統計的注意

(Bull. Johns Hopkins Hosp., Vol. XXXII, No. 365, p. 221.)

ピアール氏ハ、主ニ一昨年ヨリ昨年ニ互リテ流行セシ嗜眠性腦炎患者ノ精細ナル統計的觀察ヲナシ、次ノ如ク述ベタリ。即チ紐育市ニテ、昨年ノ發病數ハ、一昨年ニ比シ殆ド五倍ニ達セリ。同時ニ死亡率モ増加シ、二十六

%ヨリ三十七%トナレリ。流行ノ時期ヨリ云ヘバ、兩年ニ於テ著シキ差異アリテ、昨年ハ春ニ多クシテ秋ニ少ナカリシガ、一昨年ハ秋ニ多クシテ春ニ少ナカリキ。死亡數ノ最モ多キ時期ハ、發病數ノ最モ多キ時期ヨリ、二十三日乃至三十七日後ニアリシガ如シ。性ニ付テハ、全人口ニ於ケル兩性ノ比例以上ニ、男子ガ女子ヨリモ多ク胃ナレタリ。然レドモ、男子ニ於ケル死亡率ハ、女子ニ比シテ全人口ニ於ケル兩性ノ比例ヨリ生ズル數ヨリ多カラズ。次ニ發病ハ年齢ニ關セザルガ如シ。罹病者ノ年齢分布ハ、兩性ニテ人口ノ年齢分布ト異ナラズ。然レドモ死亡者ノ年齢分布ハ、兩性共ニ人口ノ年齢分布ト異ナレリ。年齢ノ長シタルモノニ死亡者多キガ如シ（廣瀬抄）。

小兒結核性腦膜炎診斷ニ於ケル

ハンデイ氏反應

E. Widmair; Münch. Med. Woch. Nr. 25, Juni 1921.

バンデイ氏反應ヲ、小兒結核性腦膜炎診斷ニ應用シ、其價值ヲ提唱セルローミンデル氏ハフライブルグ小兒科

「クリニク」ニ於ケル、稍々多數ノ結核性腦膜炎ニ於テ
 パ氏反應ハ常ニ陽性ニシテ、該腦膜炎ニ類似症候ヲ呈セ
 ル異種疾患ニ於テハ、盡クパ氏反應陰性ナルヲ報ゼリ。
 而シテウ井ドマイエル氏ハ、十三實驗例中、該反應陽
 性ナル七例ハ、結核性腦膜炎ニシテ、パ氏反應陰性ナル
 六例ハ、漿液性腦膜炎、肺炎及腸「チーフス」等ナリキ。
 而シテ著者ハ、パ氏反應ハ、腦脊髄液細胞増加、液壓昂
 進及凝固物形成等ヨリハ、成績確實ニシテ、ノンネーア
 ベルト氏反應及ロスージョーネス氏反應ノ疑ハシキ際ニ
 モ、パ氏反應ハ、顯著ナル陽性ヲ呈ススト云フ。
 (島岡厚吉抄)

羊飼カラ百萬長者ニ。

(山師的醫術ノ成功者)。

アメリカ醫學會雜誌、九月十七日發行號所載
 ベルリン通信ヨリ轉載。

數日前、ハノーベル州ノ一寒村ニ於テ、「羊飼アスト」
 ト呼バレタル、近來大評判ノ大山師ガ死亡シタ。此アスト
 ハ、患者ノ頂カラ二本ノ毛ヲ引拔イテ、ソレデ病氣ヲ診

斷シ、ソシテ自家製造ノ混合劑竝ニ軟膏ヲ與ヘテ居タガ、
 多年、患者ハ、單ニ獨逸國內ノ總テノ部分カラ雲集シタ
 ノミナラス、外國ヨリモ其術ヲ求メ來ルモ多ク、其初メ
 ハ一貧羊牧者ニ過ギザリシアストハ忽莫大ナル利益ヲ收
 メテ百萬長者トナツタノデアアル。醫學ニ對スル無智ハ國
 際的デアアル。

抄譯者附記。

醫學ノ發達シタ獨逸デモ、矢張此種ノ流行ガアルノハ、免カレ得ナイ
 人間ノ弱點デアラウカ。米國デハ、「クリスチアンサイエンス」ト呼バ
 レル、「キリスト」教ト疾病治療ヲ結合シタ宗教的團體ガ仲々ノ勢力ガア
 ツテ、ホストンニ其總本山ガアリ、規模宏大ニシテ輪奐ノ美備ハリ、且
 又随分流行シテ居ツテ、傳染病デモ、惡性腫瘍デモ、此教會ノ祈リト、
 聖水ト及專屬施術師ノ治療ニ依リテ忽ニ治癒スルト信セラレ、随分教育
 ノアル人々迄モ熱心ナル其信者デアリ、或場合ニ信者ガ私ニ向ツテ「米
 國ノ醫學チ學ンデモツマラヌ。ソレヨリ「クリチアンサイエンス」ノ施
 術師ニナレ」ト眞面目ニ勸告シタ事モアツタ位デ、其勢力ノ侮リ難イノ
 ニ驚イタコトガアツタ。「ザフテリ」患者ニ聖水ヲ飲マセ、遂ニ死亡
 シテ、裁判上ノ問題ニナツテ居ルコトガ勢クナイトコロナドハ、日本ノ
 天理教ト大差ハ無イ。是等ノ治療ニハ或ハ心理學上カラ、又ハ科學上カ
 ラ、多少ノ根據ガアルニシテモ、何レニシテ人間ノ弱點ニ乘ズル、又其
 弱點ニ囚ヘラル、所ハ國際的ダトアハレニ感ズルノデアアル。(T生抄)

死産ナル術語ノ定義

アメリカ醫學會雜誌、十月一日號、雜誌ヨリ轉抄。

千九百十八年度ノアメリカ合衆國出産統計局ノ報告中ニ、「死産ニ關スル記載ニ於テハ充分ナル注意ヲ要スルモノニシテ、死産ナル語ガ、各州ニ於テ其意義ヲ區々ニスルガ爲メニ、從ツテ之ニ關スル統計ノ完全ヲ望ム能ハザル」ヲ警告セルアリ。蓋、範例ニヨレバ、「死産兒ハ出産及死亡トシテ届出ヅ可シ。……但、出産及死亡證書ハ子宮妊娠ノ五箇月ニ達セシモノニ非ザレバ、之ヲ求ムルコト能ハズ」ト。而シテ各州中、ミネソタ、ニュウヨルク及ノースカロリナニ於テハ、之ト同様ノ規定ヲ有シ、コロンビアニテハ「五箇月ヲ經過セシ」胎兒ト定メ、インディアナハ「七箇月及以上」トナシ、殘餘ノ各州ニ於テハ死産ナル術語ヲ特別ノ規定ナシニ使用シツツアリ。

(T生抄)

雜報

●會員動靜

朝鮮總督府道慈惠醫院醫官從七位

沖津 亘

陸軍高等官六等

臺灣總督府醫學專門學校助教正八位

赤木金太郎

敍陸高等官七等

岡山醫學專門學校教授

原 正平

依願免本官

陸軍一等軍醫

岸本宗治郎

陸軍一等軍醫

平野 林

陸軍軍醫學校御用掛ヲ命ス

臺灣總督府醫學專門學校教授

吉田 坦藏

二級俸下賜

臺灣總督府醫學專門學校助教

杉山 榮

五級俸下賜

臺灣總督府醫學專門學校助教

赤木金太郎

六級俸下賜

(九月三十日)